

2022年度全校アンケート 教員編

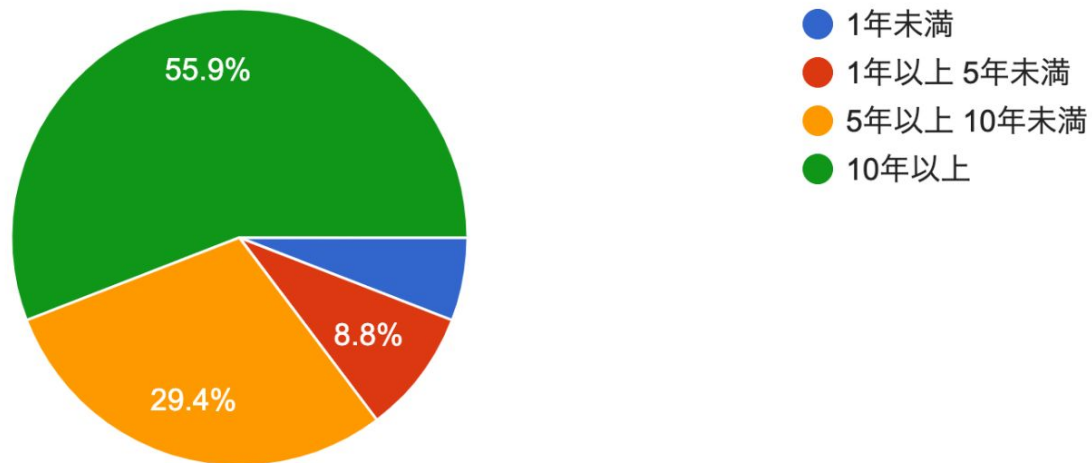
対象者:全教員

回答数:34

期間 :2023年1月17日から1月29日まで(13日間)

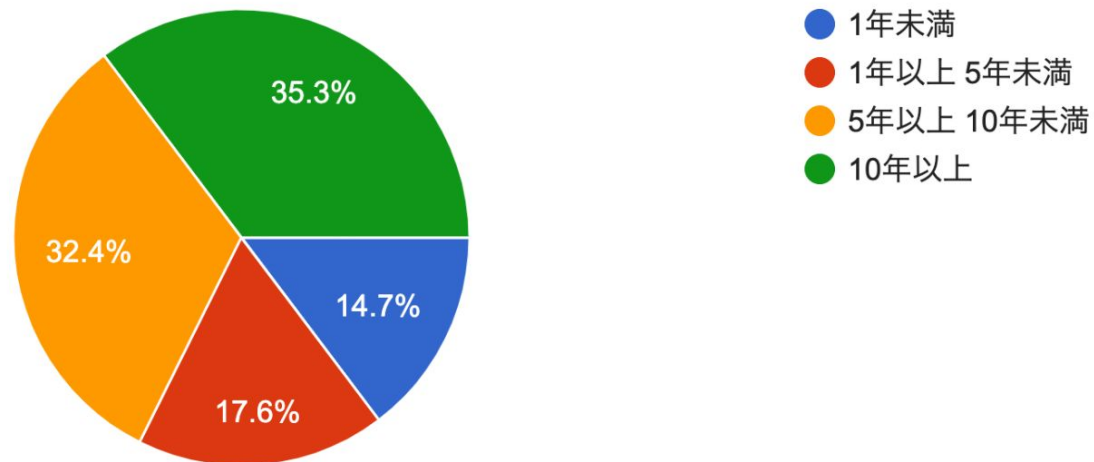
先生のご経歴についてお尋ねします。教員としてクラスを教えた経験年数で当てはまるものを選びください。(教えた国、教員免許の有無、学年や科目内容は問いません。)

34 件の回答

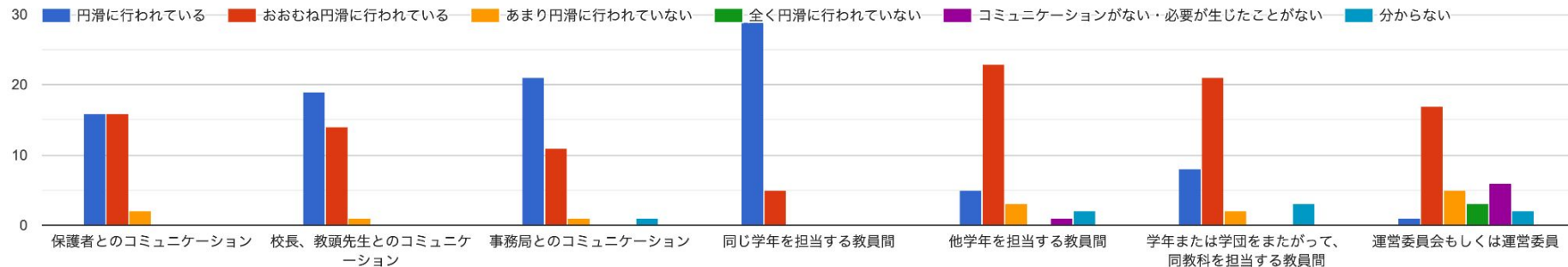


本校での勤務年数は何年ですか。

34 件の回答

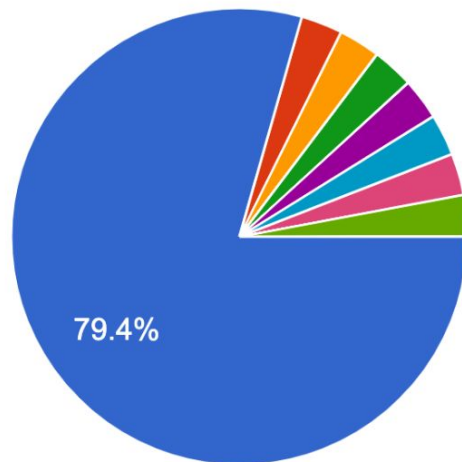


以下に表示された相手とのコミュニケーション状況に当てはまるものをお選びください。



学年会は十分に開催されていますか。

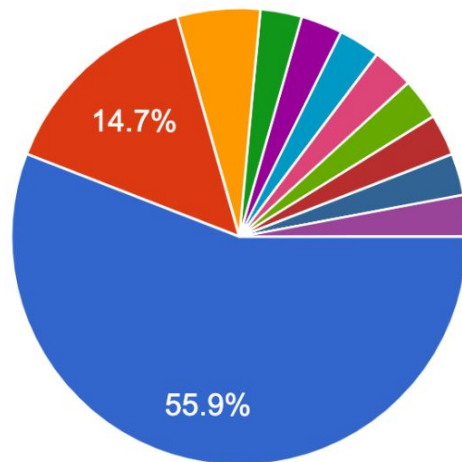
34 件の回答



- はい。
- いいえ。
- ZOOMで予定を合わせて行うので、なかなか気づいたときにすぐ開催するとい...
- 中高では、学団会議を持つことが多く、学年会を持つ時間が制限されることが...
- 時間が足りないので、無給でしている。
- 学年会の時間が足りない。また、共働...
- 行われていますが、時間が短いように...
- たいてい45分という縛りがあるが、...

土曜日に行われている職員会議に掛かる時間について、お尋ねいたします。

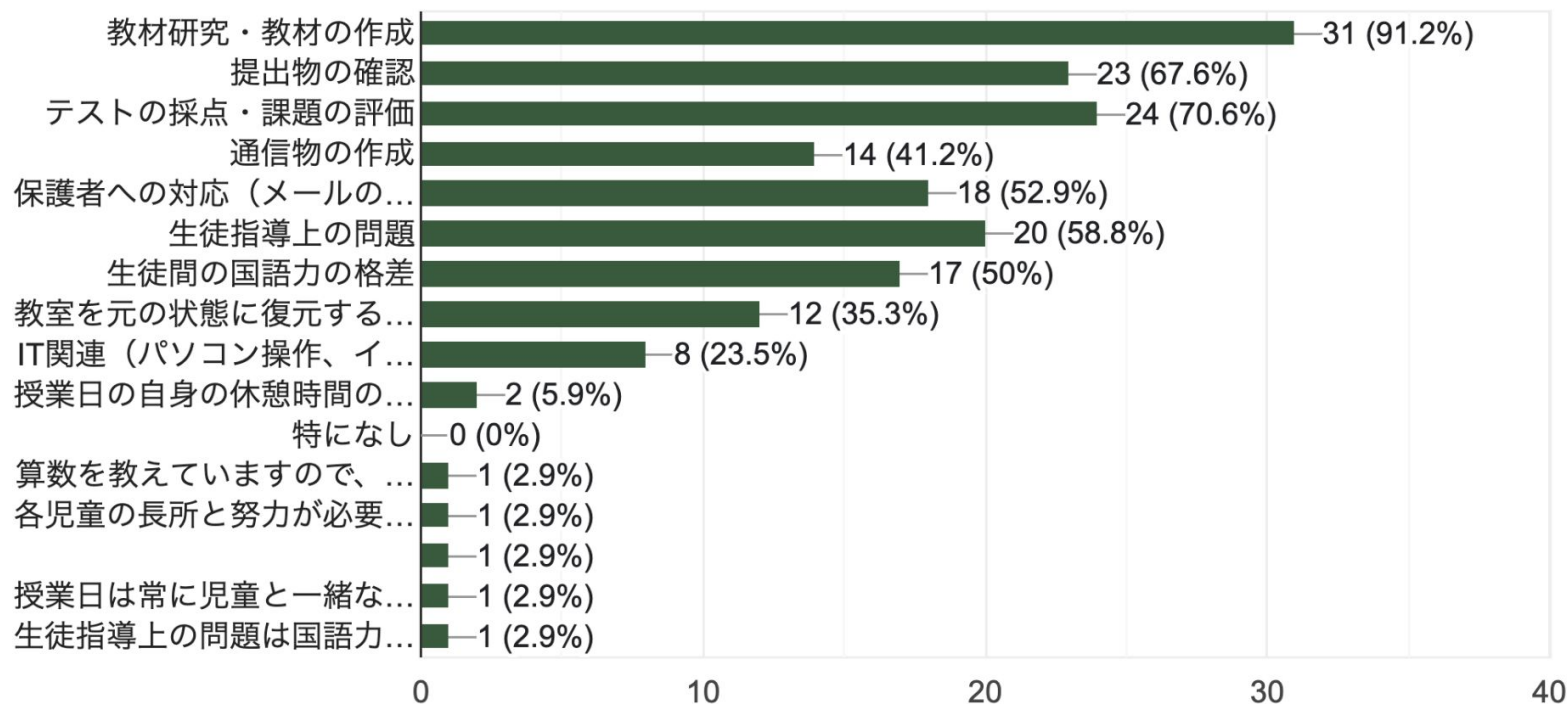
34 件の回答



- 適当だと感じる。
- 時間が長い。
- 時間が足りない。
- その時々で変わります。運動会につい...
- 全体会にかかる時間は適切だが、学団...
- 資料を全部読んだいるので無駄な時間...
- 職員会議、学年会は必要だとして、そ...
- 全体会の時間は適当だが、学年会の時...

スムーズな学級運営や授業を心がける上で、特に努力している点がありますか。(複数回答可)

34 件の回答



子供達の漢字・語彙習得に向けて、工夫されている点、今後改善が必要だと思う点、などについて、ご意見、ご提案をお聞かせください。(国語担当以外の先生もぜひご意見をお聞かせください。)

学活の時間を利用して、子供たちに授業以外の多くの話をするように心がけています。そして、その場合新しい語彙、子供たちが知らないような言葉は、必ず板書をし、説明をしています。授業では、今後、短文づくりや国語辞典を利用した活動を増やしていきたいのですが、授業時間がいっぱいいっぱいですそこに回す時間が正直ありません。この部分はご家庭で取り組んでいただけるとありがたいです。

持ち上がりで国語科を担当したため、彼らをじっくり育てることができたと思います。

1、毎週の10問テストの①出題方法と②採点の仕方を変えました。

①出題方法

従来:そのまま漢字スキル通り

改善:回答用紙は空欄があるのみ(PowerPointで)順不同に出題した傍線部の語句を答える

漢字スキルの順番で記憶しても、実生活では順番通りに出てきません。以前より(下記の)作文に漢字を取り入れるようになりました。

②採点の仕方

従来:教員が採点

改善:テスト後(PowerPointで)解答を提示、生徒に○つけさせる(書けなかった生徒は赤で書き入れる)、用紙を回収し教員が確認する。

漢字テストに誤答が多くても丁寧に模範解答を写すと1、漢字練習になり、2、生徒の「やる気」を評価できます。3、正解を書いた生徒でも意味を確認するとアヤフヤなこともあり、答え合わせの時間を取ることによって語彙の確認ができます。(全くやらない生徒もいる)

2、副教材「国語のワーク」の作文のページの使い方

従来：普通に宿題にしておく多くの生徒が作文のページを空欄にしておきます。「書いても誰も見ない」というのが主な理由。模範解答を読んでも自分の文章が良いのか悪いのか判断しかねるとも。

改善：200字作文を書かせてGoogleクラスルーム課題として提出させています。教員は作文に目を通しコメントと評価点を付けます。

書き方はワークの内容通りです。①アシストメモを埋める、②それを型どおりにまとめる、③原稿用紙の使い方にしたがって清書する。中2と中3と提出した生徒さんは毎回25名前後(36-40名中、約10名は出さないことが多い)。

家庭で授業に向けてきちんと音読や漢字練習、宿題等に取り組んでいただけること。

言葉や漢字の習得は、使用頻度を多く密にする、繰り返す、以外にないと思っています。課題や宿題として漢字練習や語彙調べなどを取り入れています、「身につかない」「身についていない」という意見を聞きますし、実際そう感じます。週1回の学校での授業をどんなに工夫しても、それ以外の日に使わなければ身に付きません。かといって、月～金までの家庭学習計画を作成して強制することはできませんし、したところで実際にその通りにやるかどうかはわかりません。投げやりな言い方ですが、各家庭での覚悟と取り組みにかかっていると思います。

私自身はやったことがありませんが、教科書を視写をした上に、そこで使われている言葉や表現を使った文章作りを宿題として出し

続けるのはどうでしょう。児童の負担は大きくなるし、これも1日でやってしまっただけではあまり効果は望めないかもしれませんが。

小学校の国語で使われているフォントは教科書体だが、中学社会の教科書は明朝体で、「北」と書くつもりが「兆」と書く生徒が数人みられた。これは、この書体の違いによるものだと思う。「西」を「酉」と書く例も散見されるなど、小学校で履修した漢字が中学部になって定着していない生徒が多くみられた。書き順の混乱も多くみられた(飛、書、など)。

漢字の学習時に、筆ペン、書き方フェルトペンなどを使用した書写(書き方)授業を実施することが効果的と思われる。中1社会の授業では、東西南北その他の基礎的な漢字をフェルトペンまたは筆ペンで筆順を意識して書くプリントを授業中に実施した(特に、「北」の間違いが多かったため)。

補習校の授業だけでは不十分だという事を保護者の方にも深く理解していただきたいと思います。

漢字を学習する際に、単に漢字テストに向けて練習させるのではなく、その漢字の意味や使い方(熟語や例文づくり)に目を向けさせて指導している。学年の意向で「漢字スキル」を選択している学年があるが、副教材としての価値が見いだせない。できれば、全校で使用する副教材を統一したい。

4年生では国語辞典を毎日使用させている。授業の中で辞典を使ったゲームを行ったり、宿題に辞書引き学習や語句調べを入れたりして、慣れ親しませている。子どもたちが辞書好きになっていることが目に見えてわかる。

生徒に問題文を読ませたり、漢字には読みをつけてつまることなく読めるようにしている。特に、新しい数学用語は繰り返し生徒に復唱させるようにしている。

算数の用語の説明の際は個々の漢字の意味、訓読みに着目させます。問題文や「まとめ」の文も数回音読し、内容の理解を確実にするよう留意しています。

国語以外の教科においても、折に触れて意識的に漢字や語彙に話題にする。

漢字をただ丸暗記させるのではなく、意味を考え漢字の例文づくりを授業の中で行っている。

それぞれ児童の興味のある事柄について会話を心がけ、その中から新しい語彙などを一緒に学べる様に努力している。

国語の単元の事前学習で言葉調べ、家庭での会話を沢山してもらえるような取り組み。
漢字について前向きな言葉がけ、自信を持たせられるような採点の仕方。

ゲーム形式での漢字学習への取り組み。を心がけています。

あかねこ漢字は「写経」になってる感がある。毎週1時間かけて採点とコメントしているが、そのテストで安定した高得点を取っていても、単元テストになると読み書きも出来ない。来年は、あかねこ漢字テストは子供達に採点をさせて、1漢字1行文を書かせる練習をしてみようと考えている。各児童はそれぞれ得意な事や好きな事があるから、それを関連付けた漢字を使った文章を作る練習を取り入れようと思っている。例えば、「速い」という漢字を習ったら、飛行機が好きな子は、飛行機のスピードについて書くだろうし、野球が好きな子は、「相手ピッチャーのボールは速い」などと書ける。日記形式でもいいしそこは子供達に任せていろんな文章を作って書くという事をやらないといけないと痛感している。クラスでの「あかねこ漢字」練習は、デジタル教科書を使い、書き順が出るので、児童達に前に出てきて書いてもらっている。各自、好きな字はきちんと覚えていて、テストでもその字はきちんと忘れずに書けていたのが印象的だったので、来年も続けたい。

漢字、語彙習得は学校だけでは増えません。最近、漢字をキャラクターのように覚えている子が増えている。と感じます。理解するというよりは、絵を覚える感覚。

語彙を習得させるため、毎週日本の行事にちなんだテーマに沿って、言葉の学習、工作、音楽、読み聞かせの内容を連動させ、学習できるように工夫している。言葉の定着には、家庭での繰り返し学習が必須。家庭でも楽しく学習できるような工夫が必要で、学研の定期本を学校での活動と家庭学習をつなぐ教材として採用を事務局に提案し、来年度から購入を許可頂いた。

本年度は国語科で音読に力を入れるというのを受けて、社会科での本読みを課題とし、毎週15分ほど授業中にも音読の時間を確保しました。社会科の難しい語句を読むことで、6年生相当の語彙の習得、漢字の読みにつながることを目的としました。

- ・学習に必要な漢字・語彙は授業内で数週にわたって取り上げ定着を図っています
- ・学習に必要な漢字・語彙の定着には家庭学習が鍵であることを指導しています。

・授業内で多彩な語彙を駆使したり、「漢字への知識や、語彙が広がる事は楽しい」と思わせる授業展開を心がけるようにしています。

教科書音読に関係した読み仮名つけを毎週課題として出している。授業でも扱って、間違いは家庭で訂正し提出としている。このやり方で漢字読みがよくなるようになっている場合と、3年生からの漢字が読めない児童は、授業中にはまったく手が付けられず、保護者の補助で読み仮名をつけを提出している家庭での読み練習をしてほしいのが、実際の読み練習はなくて、授業に臨んでくる。

ここを改善するためには音読録音の提出を考えている。今年度は試行錯誤をしているが、音読録音を課題として出すことで、少しは音読にも力を入れてもらえるのではないかと考える。(音読部分は教師指定で、音読部分にルビをふらせない。)

担任クラスの国語力がもう一方のクラスと比較して低いので、(読解、漢字などの平均点が常に20点以上低い)漢字学習から自信をつけてもらおうと、合科の時間には漢字テストの10問を指導している。読み方、漢字の意味、短文づくりを学習してから漢字練習をし、テスト3分間となる。この方法を10月以降とるようになってから、漢字テストの平均点が10点ほど上がってきた。また、50問漢字テストでは、80点以下は絶対に2回目挑戦をしてもらい、漢字練習に力を入れてもらっている。(80点の合格ラインを越えていても、2回目挑戦したい人はしてよい。また、よい点数を記録として残すとしている。)以前は希望者だけの2回目挑戦だったが、この不合格者2回目挑戦で、やはり平均点が少しずつ上がってきた。

電子教科書使用になってから、授業内容を細かく自分自身が指導しなくなった。黒板に文字を書いての指導でなく、パワーポイントにすでに板書することをまとめてあるので、その部分を見せて書かせるようになった。板書する時間の節約にはなるのだが、文字の書き順などを見せることもなく終わってしまい、これでいいのかと反問することもある。

漢字を1文字覚えてもそれが文章の中で使えなければ意味がないので、漢字テストもできるだけ使い方がわかるような形で出題しているつもりです。意味調べ、例文作りなども宿題として出しています。今後は学年を超えた取り組みなども必要かと思います。

漢字の成り立ちなどは教材に書かれているので宿題として家庭でできるので、授業では友達と漢字を使って文章を作ったり、漢字を使ってゲームをしたり、座学でないことを授業で取り入れてはどうでしょうか。その方が楽しく漢字学習ができ、また「漢字を使う」ことの練習になると思います。

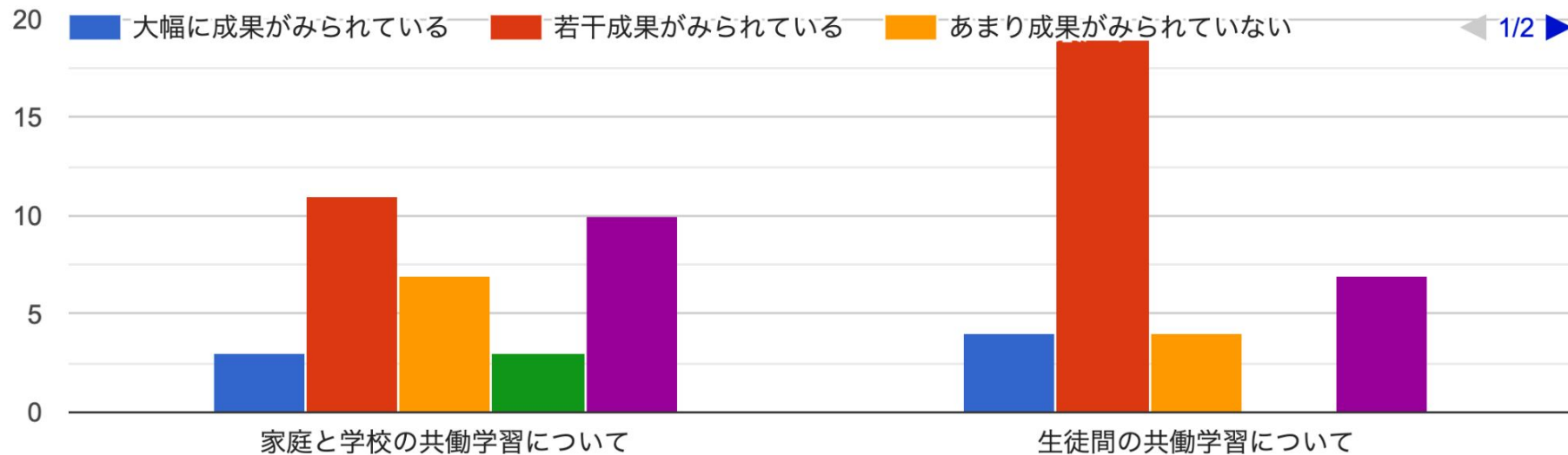
今年の教員の研修会で行ったように、小学校の国語科について、統一した見解を持ち、一貫性のある指導を行うなどの工夫が必要だと思います。先生方の指導に対する目的が一緒でないと、学年によって取り組みの違いが出来、結局次へ繋がらないので、教科間での研修や会議を随時開き、随時学年間だけでなく、縦の繋がりでも意見を共有することが大切だと思います。

教科書に出てくる言葉の意味や使い方を絵や画像など視覚的なものも使って理解させるようにしている。学習した漢字を聞き取りテストを行うことで、家庭での漢字・文字練習を保護者と一緒に取り組むように仕向けている。

例文作り、言葉の意味確認をしている

板書などで、学習した漢字を使用し、日常の授業の中で子供たちにノート指導をしながら漢字を書くようにしています。テストも大事ですが、学習した漢字が定着できるように、国語だけでなく、算数もノートに問題文を書くようにしています。4月に比べると、書くことに対して嫌がらなくなりました。

家庭と学校および生徒間の共働学習を実施し始めて3年程経ちましたが、その成果がどの程度
みられているとお考えですか？



共働学習について、ご意見やご提案がございましたらお聞かせください。

算数の共働学習においては授業でやる単元をあらかじめ予習としてやっていただくのが今後は良いと思いました。実は、算数の理解度が低いお子さんに後期予習をしてくるように頼んだら、目に見える成果があり、算数で使う日本語を理解する上でもこの方法は役に立つと思いました。それから、算数、国語に関わらず授業前にやってくるべきことをやっていない、また、授業に必要な持ち物や合科の教科書、副教材を用意してこないお子さんが必ずいて(いつも決まった人)、毎回困っています。

学習計画表は宿題を記載するためならば、学習予定表と同じ内容なのであまり意味がない気がします。Googleクラスルームにも宿題については載せています。授業の内容やながれ、復習のポイントを細かく載せるためならば意味があると思いますが、用紙の表面1枚ですべてを収めるのは難しいです(図をいれたいため)

ご家庭によって、日本語学校に通わせる目的や学習に対する熱意が異なるので、何とも言えません。事前に学習計画表を提示したことにより、元々熱心で協力的なご家庭の場合は、学習の方向性が明確になったので適切な支援をしてくださっていると思います。

生徒間については、話し合いができる学年(年齢)になったこと、普段から何かにつけてグループ学習をしてきたことで、級友同士で意見交換をしたり教え合う素地はできたのではないかと思います。

ご家庭での学習が各家庭で開きがあると思いますが、どうしたらいいのでしょうか？

中高では、家庭と学校の共働学習の成果は見えにくいと思う。理由は、小学部と違い、保護者自身が中高生になった子どもの勉強に介入することが少なくなるため。

保護者に向けた学習計画書が実際に保護者に読まれているとは思えません。忘れ物の数、児童が提出物の内容とテストの有無を把握しているかどうかを考えると、見ていない家庭の方が断然多いように感じます。

保護者は教室・授業の様子を窺う機会がほとんど無いので、授業での指導や子供たちの様子なども含めて各单元ごとに「学習のまとめ」を作成し、Google Classroomにアップロードしています。

授業日の週の日曜までにアップロードするのは保護者のためであるのに、あまり活用されていないようです。

保護者向けの学習計画書を作成するよりも、以前の学習指導案作成に時間を取りたいです。

ご家庭での協力が欠かせません。事前学習に取り組むことによって、授業の時間を有効に使え、子供たちの挙手も活発になります。

保護者の皆さんへの働きかけと協力が不可欠です。教員も事前学習の手順の詳細を保護者へ発信し、家庭学習がスムーズに取り組めるように配慮しなければいけないと思います。

なかなか難しいと感じている。私自身も授業で出来なかった部分は家でやってもらうしかなく、保護者の方々もお忙しい方が多いので、負担が大きいと思うが、成績や宿題提出全てが保護者次第だと思う。日本語が出来る児童の保護者は、やはりきちんと日本語学習のサポートをされている。各ご家庭で求めている日本語レベルも違うので、そこをきちんと保護者の方と話をし、目指す目標に向けて協力していくことが大切だと思う。私は夏休み明けから子供同士の共働学習ももっと取り入れたかったのですが、日本語が出来る子が嫌がり1人でやりたがるが多かったし、一緒にやるのを嫌がられた日本語が苦手な子も、やりたがらなくなってしまった。これは私の課題でもあると思う。保護者だと「やらされている」感が強いけど、子供同士だと主体的に学べるので、グループ分けは非常に大切だと思う。

教員の負担が多すぎるわりに成果がない。

教員の負担は増える気がします。算数は学校と家庭との共働学習を強調して実施する必要性をさほど感じません。教科が学年によっても違うのでは？と思います。

幼稚部では、共働学習のプログラムに関わらず、学校では児童同士で活動する場面が多く、家庭では毎回保護者の方に児童の学習をサポート頂いているので、今までとそれほど大きな違いはなかった。ただ、他学年の先生と教科部会で、統一したテーマについて話し合えたのは、とても勉強になった。先にも記載したが、教科部会は、国語科・算数科で同じ日に設定して頂きたい。

共同学習はスムーズに行われていると感じます。

児童間の共働学習は、言葉ができる前からペア学習・グループ学習などで学習をしているので、共働学習になったから成果がというのはわからない。

こうでもないああでもないと工夫して、学習計画表を作っても、見ていない保護者、子供が多いのが現実です。

中学生は家庭との共働のアイデアが乏しい。どうしても「宿題・課題のサポート」になりがち。他の先生のお話を聞いていると共働学習を取り入れてから座学だけでなく生徒間のグループワークの時間が全体的に増えていると感じます。

低学年の家庭学習における取り組みは、児童の学力、やる気に大きく影響する傾向が高いように思います。これからも家庭との連携を深めながら指導に当たりたいと思います。

特に中高では、コロナ時のオンライン授業では、ご家庭の協力のもとで大きな成果につながった部分もありましたが、対面授業に戻り、現在各家庭にお知らせしている学習計画表をもとに取り組まれている家庭はとても少ないと感じている。ある程度自立や自己管理も必要である中高生であるが、国語科や社会科などでは単元によってはご家庭のサポートがとても力になる場合があるので、ご家庭への周知、そして先生方の教科への取り組みなどで、もっと共働学習再度、確認する必要があると思います。

毎週事前に学習計画表をグーグルクラスルームを通して家庭へ送っているが、見ていない家庭が少なくないという実感がある。

宿題や事前学習を知らせることは必要だし、効果があると思うが、授業の内容(学習計画表)を事前に渡すことは必要なのか疑問である。

学習計画表はもっと簡略化されたものでよい

教員も保護者も慣れてきているので、子供たちも意識をもって取り組んでできていると感じます。音読の活動は効果がすぐに見えてくることも多いですが、継続が大事なので、一時的な活動に終わらず学年間で連続性があるといいと思います。その意味では、今年度の国語部会、算数部会での研修会は、効果的だったと感じます。限られた時間の中でのするのはわずかではあるものの、継続的にできたら良いと思います。また、それだけの対価も考慮に入れて欲しいです。研究、議論には、時間がかかるし、小学3年生以下は、学年間の共有も必要なので、さらに、時間がかかります。その点も考慮に入れて欲しいです。

学校施設、Googleクラスルーム、IT環境などについてご意見があればお聞かせ下さい。また今後どのような電子ツールやITサービスがあれば効果的だと思いますか？（できるだけ具体的に教えてください。）

もっと細かい字や線がかきやすいペンタブ。今のものは字が書きにくいです。

学校施設について要望があります。（無理を承知で書きます。）

児童が思いっきり走り回ることができる場所、そこに行き来する十分な時間が欲しいです。また、せめて学年で集まることができる部屋を使わせてもらいたいです。そうすれば理科や音楽などもできますし、もう少し学習や活動の幅が広がると思います。

生徒が「アカウントにアクセスできず教師とのスライド共有がうまくいかない」という事例がありましたが、原因が不明です。そういったときに気軽に相談できる窓口をあらかじめ生徒・保護者に連絡していただけると、問題解決がスムーズにいくのではと思いました。（今回の事例は保護者から添付ファイルで送付してもらったので解決済みです）

Googleクラスルームを使う事により、生徒の提出物の管理がとてもしやすくなったと思います。オンライン時にはKahootを使用して生徒達も気に入っていましたが、対面になってからは、クラス内での使用が出来ないので残念です。

カフェテリアが使えなくなり、教室で昼食を取るようになったことで、今までのような縦の学年間の交流の場がなくなった。改善策はないものかと思う。Google Classroomはフルに有効活用している。IT環境については、授業で学校のPCをいつでも使えるような環境づくりを望みたい。（現地校のスタンダードが理想）

子供には対面での指導が最優先だと思いますが、教員の研修に使う事は有効だと思います。下記に具体例をあげました。

私はグーグルクラスルームで一括でやっている所以効率的で助かっています。

体育や音楽など学年で集まって学習できる広場が欲しい。集合学習で生徒が学んでいることが沢山あることにコロナになってわかった。

学校保有のラップトップコンピューターに、エクセルの導入。

幼稚部は連絡ボックスを使用している。継続して頂きたい。

○いつも授業日に必要に応じた迅速なITサポートを受ける事が出来、感謝しております。

○Google Classroomは大変便利で、授業でも多岐にわたって活用させて頂いており、引き続き学校で取り入れて行って頂けると大変助かります。

○Google Classroomを使用していることから、オンライン授業用のツールは外部のzoomではなくgoogle meetがより便利ではないかと思っています。何かの際にご再考いただけると幸いです。

○学校→児童へのお知らせの完全ペーパーレス化に際して、たとえば

peachjar <https://ms.peachjar.com/>

※デジタルのチラシ掲示板のようなサービスです

などを利用して、「はなみずき」「みらい通信」「図書便り」「野菜の購入などのお知らせ」等と共に一か所にまとめ、保護者がひとつのメールで直に(さらなるリンク等を介せず)複数のお知らせを閲覧できるようにするのはどうでしょうか？

機械が苦手なので、こういう時どうしたらいいのかと思うことが多いです。

生徒に飽きさせないような授業作りの一環で、クラス内でカフトなどのアプリを使用できたら楽しいと思うことがあります。それが実現できるような方法はないか、考えて頂きたい。例えばクラス全員がパソコン1台を使用できるようにするなど。

中高生は現在、生徒向け案内はgoogleクラスルーム、保護者向けは連絡ぼっくすと分かれています。生徒向けのgoogleクラスルームに保護者もアクセスして、統一できないでしょうか？それだけで教員の「ひと手間」が省け、作業効率が上がります。

教員研修について、ご意見やご提案がございましたらお聞かせください。

研修はほかの学年の様子を知る機会になり、とても有意義でしたが、学年の中でも研修授業の計画を中心に立てる人だけに負担がかかっています。私は3年生ですが、もともと3人しか教員がおらず、1人は新人なのでおのずと残り2人でそれぞれ算数と国語の研究授業を用意しなければなりません。私は国語を担当しましたが、平日仕事を抱える中で、夏休みにかなりの時間を費やして準備しました。謝金には反映されない部分です。あまり、負担のかからないような研究授業の準備ができるような工夫が必要です。

もうちょっと早い時期に新人教員研修をしてほしかったです。

教科部会の回数をもう少し増やしていただけると嬉しいです。

来年度も学年ごとの研究ではなく、縦のつながりを意識した教科ごとの部会で進めてほしい。部会の活動が活性化されることが、一番の授業改善につながると思う。ここでいう「活性化」というのは、授業公開という意味ではなく、全教員の共通理解が図られるような話し合い、取り組みを指しています。

全体研修会で、以前にやっていたような派遣の先生方の講義を聞きたい。授業に役立つ情報など。

以前のような、派遣教員主導のもとに学びあいの場にしていただきたいと思います。

縦割りで国語の研究ができたとは大変有意義であったと思います。

まず、新任研修は、優先的に実施すべきだと思います。

その他、オンラインで有効なのは教員の外部での研修参加や他の補習校教員との交流(AG5のような)です。実際にどこにいても参加できるのはとてもいいことだと思いますが、これらは時間外になり、自由参加になります。平日、仕事のある方は難しいですが、週末にも開催されることもあります。その参加も研修として認めて頂ければ、参加者が増え、よりよい授業を供給できるのではないかと思います。

教員研修は、実際に1日授業を見学して、先生の授業や子供達の授業態度、1日の流れなど一緒に過ごすイメージがわかりやすいと思います。現場が1番勉強になると思います。

どの教員研修のことかわかりませんが、全体に行ったもので、以前は、派遣教員がご自身の経験や、取り組んでこられて事の研究発表や外部からのセミナーなど、とても興味深いものが沢山あった。

学校教育において有効な電子ツールやITサービスの紹介などの研修会を行って頂きたい。すべての先生が興味があるとは思えないので、希望者向けだけでも良い。

教員間での先生方使っていただける学習サイトや教材研究に役立つサイト、ヒントなどの交流ができるとよい。今回の国語部会の音読発表では、私のクラスではオンラインレコーディングシステムを利用しての発表(欠席者は事前に録音)をしたが、その利用法を他学年の先生も知ることとなり、今後の授業に役立っていく。グーグルクラスルームには映像が絶対に載せられないと思っていたが、教師だけが見る分(課題提出)にはよいことを知った。交流を通して学ぶことがある。

時間がとられすぎだと思います。

来年度は空き時間ができます。その時間を教員研修に充てて欲しいです。

先生方で学ぶ時間はとても貴重でありましたが、以前のように講師を招いた研修なども機会があれば是非行う機会があると、かなり刺激や学びになると思います。

授業発表・ビデオ撮影する教員一人の負担が大きい。教科ごとにテーマに沿って研究するだけでよいと考える。

今後、Googleクラスルームを介してのオンライン授業の可能性も考えているのであれば、自然災害の時期の前に、教員にレクチャーしていただきたい。また、今年度のような異学年との教員間で授業に関わる意見交換(パワーポイントや他に工夫していることなど)共有する時間が欲しいです。

主に夏季の長期休暇前には、生徒の欠席が多くなりますが、その期間をオンラインで授業する事について、どう思われますか。ご自由にご意見をお聞かせください。

対面授業を望みます。

欠席理由が日本帰国などであれば、時差もあるしオンライン授業に切り替えても参加は難しいと思います。欠席の場合は自分で次の授業に追いつけるように勉強するべきだと思うし、そのための学習計画表だと思うので、オンラインで授業する必要はないと思います。

SR校に来た人だけに授業で良いです。教室内の授業で精いっぱい。

人数が少なくなる傾向があるので、普段以上に子供達と話せる機会が増えるのは対面のいいところだと思いますが、オンライン授業で借用賃貸料を抑えることもできたらそれもいいかと思います。

夏季休暇前に欠席する児童の多くは、日本への帰省です。オンライン授業をするためには時差を考慮する必要があります。それを考えると不可能ではないでしょうか。また、多くの児童は日本で体験入学をしますので、補習校の授業は必要ないでしょう。

長期休暇前に欠席の生徒は日本帰国者が多いと思われるので、オンライン授業としても時差の関係で出席者数が増えるとは思われない。現地校の借用費用を軽減するという意味で、夏休み前をオンライン化するなら、検討する意味はあると思います。

これは、対面授業をしながらオンライン授業をするという事でしょうか？ 難しいと思います。

できるだけ対面で行う方が望ましいと思う。

オンライン授業をしても出席するかどうかは疑問、正直、効果はないように思える。日本に一時帰国した生徒の場合、時差が問題になる。

必要ないと考えます。

今まで通り対面授業を行う方が良い

欠席の児童は日本にいたり、その他の理由がありオンライン授業に参加するとは思えないので、あまり効果的だとは思えません。特に対面で学校へ登校することが大切なことだと思いますので、通学しようとする子供にとっての意欲を失う事につながる懸念があります。その上、オンライン授業に移行するとますます、欠席の生徒が増す気がします。対面での授業の必要性、大切さを分かってほしいと思います。

授業料を払っているのだから、オンラインの選択肢を作って欲しいという気持ちも分からないではないですが、日本の小学校に体験入学する為に欠席して行くのだから、保護者のサポートによる学習でいいと思う。必要な物をグーグルクラスルームからダウンロードして頂いてやってもらうというのがいいと思います。

オンラインは教員が大変、子供たちの成果が見えないので反対。

反対。幼稚部では、夏祭りなど対面ならではの活動が多いので、オンラインでは児童の楽しみがなくなる。また、欠席者は旅行や里帰りなどが理由で欠席するので、オンラインであっても参加は難しいと思う。

対面で出席できる生徒の保護者の理解が得られればかまわない

『良いと思う』理由:オンライン授業を2年間教えていた時、夏休み前に本来欠席になっていた児童も授業に参加することが出来た場面を何回も見ただけ。また、教員・保護者や児童にとっても、一度身に着けたオンライン授業の方法をブラッシュアップするよい機会になると思われるため。

よい案と思う。但し、聴講のみ？それでないで参加出席者に不公平？

1回の人数と時間が少なければよいと思います。

オンラインにすることで欠席者数が減るのかどうか疑問です。変わらないのであればオンラインにする必要はないのでは？オンラインにすることでzoomなどの経費が発生するのであれば、その費用を別の場所に充てて欲しいです。

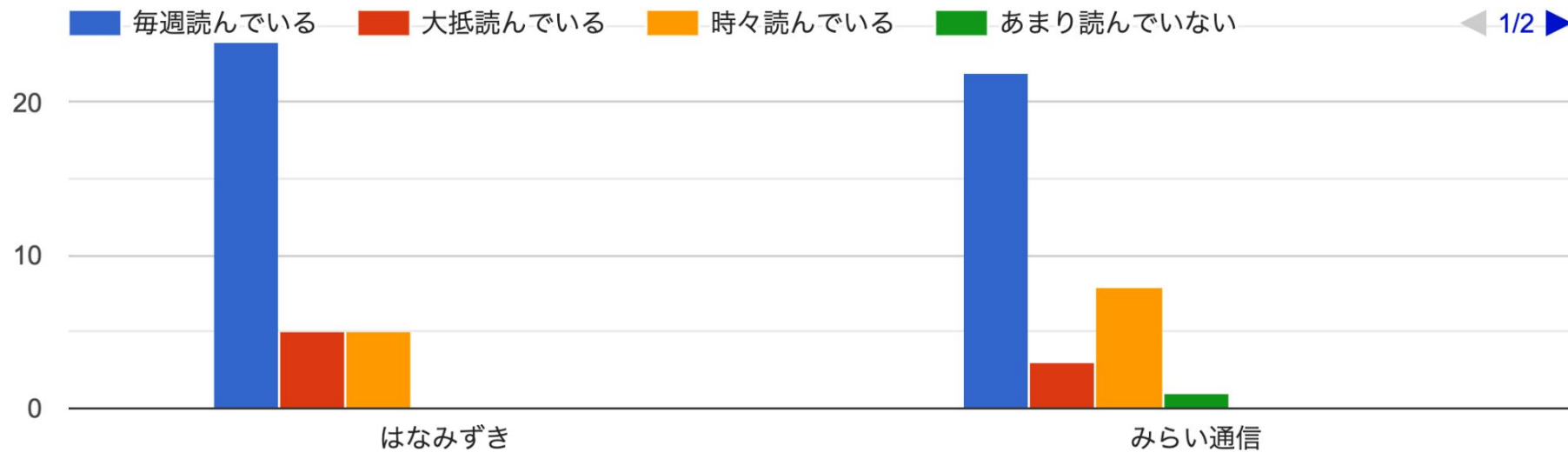
合理的でよいかもしれませんが、人数が少ないからオンラインに切り替える意図はどこにあるかが分かりません。

対面にて授業を受けれる生徒もオンラインになってしまうメリットは何でしょうか？欠席を予定している生徒は、各自の理由の元で欠席なので、そちらを考慮し、対面で参加できる生徒がオンラインに移行しなければいけない理由がわかりません。日本への一時帰国の際での参加になれば日本は夜中・・・またすでに旅行へ行っている間に一日オンライン授業参加？これに効果があるのかが良く理解できないです。

例えば、児童数が少なくなってもオンライン授業にするのは、反対である。オンラインより、対面授業の方がよい。

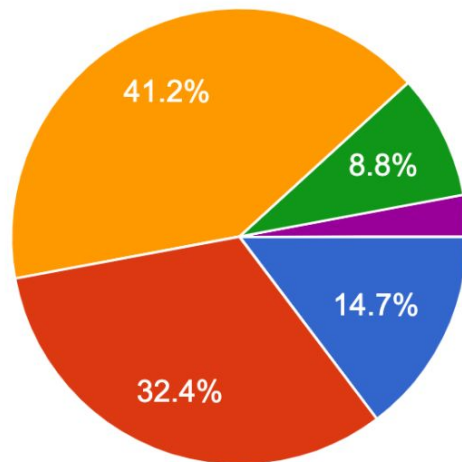
欠席する児童は多様化しています。日本へ一時帰国して日本の学校に体験入学する児童については、オンラインの授業の必要は無いし、体験入学をしないまでも、時差を考えると子供に負担をかけるべきではないと思います。また、他の諸用事で欠席する児童についても、オンライン授業をしても出席するとは限らないのではと思います。つまり、オンライン授業の必要性は無いと感じます。中学生、高校生については、情報が無いので分かりかねます。

校長先生が書かれている「はなみずき」、管理運営委員会のニュースレター「みらい通信」を読んでいますか。



本校のホームページにどの程度の頻度でアクセスしますか。

34 件の回答



- よくする (週1回以上)
- する (月1回以上)
- 時々する (1学期に1回以上)
- あまりしない (1年に1回以上)
- まったくしない
- ホームページがあることを知らなかった

「はなみずき」、「みらい通信」、「本校のホームページ」、「Facebook」について、ご意見や改善策などのご提案がございましたらお聞かせください。

興味深く拝読させていただいています。

はなみずき:書き手＝校長によって書き方・内容が大きく異なりますね。

みらい通信:一定の書き方で良いと思います。

ホームページ:従来通りの型で使いやすいです。＜変わらない方が良いです。

Facebookはアカウントを持たないのでやっていない。若者はFacebookよりもInstagramかな？しかしWJLSはSNSに広報しなくても良いと思います。ああいうのは商業ベースで利潤を生むためのツールです。

みらい通信は工夫されていて読みごたえがあります。

①「はなみずき」「みらい通信」について、複数のメールを開き、読み、さらにリンクを開き、読み、というプロセスがあるため、時間に猶予のある教員や保護者しか目を通せない状況になっていると思います。行いやすい改善策として「WJLS新聞」のようにひとつにまとめたほうが閲覧率が上がるのではないのでしょうか。

Facebookがあるのは知りませんでした。

今のままでいいと思います。私はいつも楽しく読ませて頂いております。Facebookがある事を知りませんでした。

本校ホームページでアクセスできる、できない部分があったので、その点の改善。

在校生徒児童がスポーツや音楽、クラブなど色々な場面で素晴らしい活躍をしています。それらを「はなみずき」などでどんどん掲載してほしいなと思います。

「はなみずき」はバックナンバーは全て保管されていると思うので、色々なアイデアやレイアウトを参考にしてほしいと思います。

運営委員が何をやっているのか知りたいので、未来通信を読むが、あまりよくわからない。

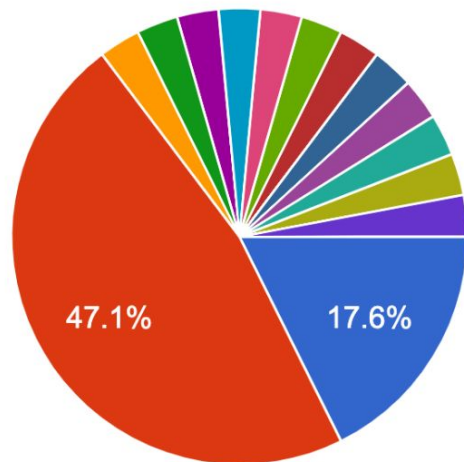
ホームページの「教職員」にアクセスできなかったり、サインインをせずに入れたりすることがあります。また、掲載されている書類で使いにくいものがあったりします。

はなみずきの、授業の様子のリポートは、普段見えない部分が見えるので楽しいです。

「はなみずき」は、一般的な歳時記などの話題だけで終わるよりも、日本語学校的话题を多く記載して頂いた号の方が、読み手がより興味を持てると思う。

34 件の回答

安全衛生当番について、保護者より授業日に必要な人数の削減要望が挙がっていますが、以下のいずれの項目がお考えに沿っているか、お答え下さい。



- 人数を減らしても良い。
- 人数は今のままが良い。
- 人数をもっと増やした方が良い。
- 今の状況で、安全確保はできていると...
- 安全衛生当番の現況がよくわからない...
- 学年・場所によって柔軟に対処する
- 他学年はわからないが、低学年の近辺...
- 今年度もまだあったと知りませんでし...

安全当番について、教員からの意見 抜粋

中学生以上はある程度自分で行動できるので、小学生のところにもっと人数をおいてあげればいいのではないのでしょうか？

低学年のトイレ前だけ(事故対応として)置けば良いと思います。

ふだんは暇な時間が多いのかもしれませんが、教員にとっては、いてくださることが安心につながっていて、お手洗いやそのほか必要な時に教室を離れることができます。

なるべく教員と同じ目線で子供の安全確保に取り組んでいただきたいと思います。その上で、削減をするのであれば、削減する場所とその理由を、前もって教員に伝えていただきたいと思います。

学校関連行事や活動について、良かった点や改善点など、ご意見がございましたらお聞かせください。

子供たちも楽しみにしていた全校運動会が開催されて本当に良かったと思います。生徒会の活動が、活発にされており、ビデオを見ながらクラスの中で盛り上がっています。限られた時間の中、生徒会を盛り上げていただき生徒会を担当されている先生方に感謝いたします。

行事にはいつも多くのボランティアが関わって下さり、感謝いたします。お陰で安全に滞りなく遂行出来ていると思います。

運動会の復活は良かったと思います。

運動会が通常開催に戻ってよかった。運動会や入学式、卒業式など、とても日本らしい行事で子どもたちにとって貴重な経験となるので、これからも是非行ってほしい。

今年は、運動会を開催出来て本当に良かったです。子供たちは来年もとても楽しみしています。生徒会の活動は、これからの子供たちの日本語の学習意欲を盛り上げてくれて、とても良いです。

運動会ができてよかった、子供たちがとても生き生きとしていた

保護者向けの講演を、できれば教員が参加できるような時間に設定してほしい。

運動会は続けてほしいです。

運動会は綿密かつ入念な打ち合わせと準備で大成功をおさめて感動しました。

また、生徒会主催の読み聞かせと「美化月間」の動画は、私のクラスでは大ヒットしました。生徒会の先生方、生徒の皆さんの準備や動画作成は時間も手間もかかり大変だったかと思いますが、先生の私が、「学校を綺麗にしましょう！」と言うよりも、生徒会のお兄さんやお姉さん達が劇を通してメッセージを送る方が、児童達には楽しく学べました。特に読み聞かせは大変かもしれませんが、続けていって頂けたら嬉しいです。

生徒会主催の活動が充実したものとなって素晴らしいですが、授業日に学習以外にやるが増えることで慌ただしく感じることもあります。担当の先生方に感謝しますが、大変だろうと思います。

運動会ができて子供達もとても喜びました。

久しぶりの以前のような運動会ができて、子供たちもとても喜んでいたし、とても楽しかったようだ。生徒会の活動は、年々内容がよくなってきていて、子供たちにもとてもいい影響を与えていると思う。

運動会は子供の記憶にも鮮明に残っていて、楽しい行事でした。継続してほしいです。生徒会活動はありがたいのですが、本の読み聞かせなど、取り上げ題材にも工夫があったらよい。

全校で行える行事は学校生活を向上させ、多くの成果に繋がっている。大変だけれども、できる限り学年を超えて交流できる行事があると良いと思います。以前行っていたピクニックデー、運動会、は皆の思い出になっているし、準備の期間を含めて子供たちが大きく成長できる場であると思います。

運動会ができて子供たちが楽しめたのが良かったです。

コロナ前のように全校で運動会ができたことがうれしかったです。

運動会でクラスがまとまったのが良かったです。社会科見学なども取り入れてみたいです。

運動会では子供達の一生懸命の姿、また笑顔を沢山みる事が出来、いつも素晴らしい行事だと思っています。

今年度は、運動会が通常通り開催され良かった。子供達からも楽しかったという声が多く届いた。生徒会の美化月間のビデオは、幼稚部では言葉が少し難しいかと思ったが、実際は児童はとても楽しんで何度も見たがり、ビデオのおかげで教室をきれいに使う姿勢が向上した。生徒会の読み聞かせも活用させて頂いた。

運動会／昨年開催日は、今までよりゆっくりだった分、練習、気持ちにゆとりを持つことができてよかったと思う。